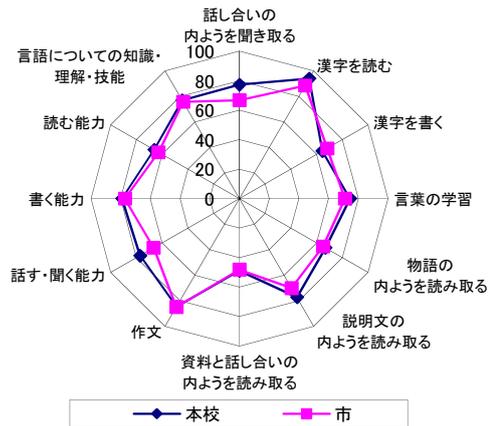


宇都宮市立豊郷中央小学校 第5学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞き取る	77.3	66.6
	漢字を読む	93.9	88.4
	漢字を書く	64.4	68.2
	言葉の学習	74.4	71.0
	物語の内ようを読み取る	66.8	64.9
	説明文の内ようを読み取る	77.3	70.1
	資料と話し合いの内ようを読み取る	48.9	48.3
	作文	84.7	84.9
観点別	話す・聞く能力	77.3	66.6
	書く能力	79.1	77.1
	読む能力	66.3	63.0
	言語についての知識・理解・技能	77.0	75.8



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞き取る	○平均正答率は、市の平均を11.3%上回っている。話し手の伝えたい内容を正確に聞き取る問題は96.6%と良好であったが、二人の話し手の話し方の共通点を聞き取る問題は、61.3%とやや低い結果であった。司会者として、話を広げるためのアドバイスを考える問題は、73.9%で、3つの問題とも市の正答率の平均を上回っている。	○日頃から、相手の話を聞く際に、自分や他の人の意見と比較しながら聞いたり、共通点を見つけながら聞く習慣を身に付けさせていく。また、学習や活動の中で、司会の立場を経験させ、発表を受けてまとめたり聞き返したりできる力を身に付けさせていく。
漢字	○漢字の読みは、正答率が93.9%と高かったが、漢字の書きは64.4%で、市の正答率68.2%よりも低かった。「祝う」の漢字の正答率は、48.3%と市の平均57.4%よりも9.1%低かった。	○読み書きとともに、日々の生活や学習の中で繰り返し練習する機会を設定し、適切に使えることができるようにしていく。特に書きに関しては、既習の漢字はできるだけ使うように意識付けをし、実践をさせていくようにする。
言葉の学習	○平均正答率は、74.4%で詩の平均を3.4%上回っている。ことわざの知識を問う問題や絵の内容を言葉を使って表す問題・漢字の推敲をする問題は、いずれも81%以上と高く市の平均を上回ったが、漢字のなりたちについては42.9%で、市の平均44.3%を下回った。	○言語活動の充実には、国語はもちろん他の教科や領域でもその充実が求められている。日ごろから、言語に対する興味や関心を高める場を設定していくようにする。特に漢字辞典の活用や部首についての知識を高めるなど、楽しみながら漢字の知識が身につくよう学習を工夫して指導していく。
物語の内ようを読み取る	○平均正答率は、66.8%で市の平均を少し上回った。様子を表す言葉を選ぶ問題は、64.7%、登場人物の心情を読み取る問題は84.9%、様子の描写を他で言い換える問題の正答率は73.1%で、いずれも市の平均を3~6%上回った。しかし、文章の表現の特徴とその効果を読み取る問題の正答率は44.5%で市の平均を6.1%上回ったとはいえ、低かった。	○読書の時間や読み聞かせの場を通して、様々な文学的表現の文章に触れる機会を増やしていくことで、様子や心情を文章から読み取る力をつけていくようにする。また、文章や言葉での表現の違いによる読み手・聞き手の受け取り方の差などを意識させるように、日頃から表現活動の場を設定していくようにする。
説明文の内ようを読み取る	○平均正答率は、77.3%で市の平均71.0%よりも7.2%高かった。文と文のつながりを考えながら読み取る問題は正答率81.5%、文章の内容を的確に押さえながら読み取る問題は正答率83.2%と市の平均を上回った。段落の構成を読み取る問題は、67.2%と低かったが、市の平均を10%上回った。	○教科書の説明的文章以外にも、様々な本や文章に触れる機会を増やし、「書き手が伝えたいことは何か。」を、文章を要約したり結論を意識させてとらえるようにしていく。キーワードやキーセンテンスを意識するとともに、接続語を正しく使ったりその意味をとらえる場を日頃から設定し意識させていくようにする。
資料と話し合いの内ようを読み取る	○平均正答率は、48.9%とかなり低かったが、市の平均が48.3%で、ほぼ平均的な結果だった。資料を読み取り、意味が正しく通じるように表現する問題は、39.9%とかなり低かったが、市の平均が40.0%で平均的な結果であった。	○資料に書かれた内容を項目や数値を意識して正しく読み取るとともに、自分の言葉で内容について表現することを、国語のみならず、算数など他教科でも意識して取り入れていくようにする。新聞などの記事を取り上げたり、話し合い活動の場で活用したりすることで、資料を読み取る力を身につけさせていく。
作文	○平均正答率は、84.7%で、市の平均的な結果だった。二段落構成で、一つ目の段落に自分の賛成する意見・二つ目の段落にその理由を書く条件では、理由について書くことは97.5%ととても高い正答率で市の平均95.4%を2.1%上回った。しかし、初めに賛成する意見がどちらかをはっきりと書く条件では、正答率は63.0%で市の平均72.7%を下回った。	○日頃の短作文や日記などを書く場で、一番伝えたいことを意識して表現する活動を繰り返して設定していくようにする。また、二段落構成で文を書く機会を意図的に設定し、わかり易く使えるためのスキルを高めていくようにする。